報道機関各位

学校法人
追手門学院

プレスリリース　No.30
2026 年 10 月 27 日配信

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1　　URL: https://www.otemon.ac.jp/

追手門学院大学の留学生が追手門学院幼稚園の保育活動を支援する「えいごれんじゃー」

11 月 5 日の「移動動物園」でも園児と英語を交えた異文化交流を実施

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）は、2026 年 5 月から、国際学部の学生が併設園の幼保連携型認定こども園追手門学院幼稚園（大阪府豊中市、園長：田中真一）で園児とともに活動するプログラム「えいごれんじゃー」を実施しています。留学生 4 人が、英語の絵本の読み聞かせや園児との遊びなどを通して保育活動に参加しています。11 月 5 日（木）には、同園で開催される移動動物園「1 日どうぶつ村」の運営に協力し、英語を用いながら園児と交流を深めます。

「えいごれんじゃー」の活動様子

【記事のポイント】
○ 国際学部の留学生 4 人が、2026 年 5 月から併設する追手門学院幼稚園の保育活動に参加
○ 英語の絵本の読み聞かせや母国の食べ物の紹介など、日常の保育を通じて園児と異文化交流
○ 11 月 5 日の「移動動物園」では、動物の名前や鳴き声などを英語で紹介するなどイベントを通じて交流

「えいごれんじゃー」のプログラムは、園児が園生活を留学生とともに送ることにより日常的に英語にふれること、園児と留学生がお互いの文化や生活への理解を深めることを目的に始まりました。こども園から大学院までを擁する総合学園の環境を生かし、世代や国籍を越えた交流が双方にとっての学びになっています。

本プログラムには、追手門学院大学国際学部のインド、ベトナム出身をはじめとする学生 4 人が参加しています。留学生たちは、2026 年 5 月からそれぞれ曜日ごとに追手門学院幼稚園の担当する学年に入り、園児とともに活動しています。

留学生たちは、英語の絵本の読み聞かせをはじめ、英語でのあいさつ、園庭での外遊びなど、日常の保育活動に参加しています。また、留学生が母国の食べ物を園児に紹介し、一緒にクッキング体験する機会も設けています。日々の遊びや生活の中で、園児が自然に異なる言語や文化に触れられる点が特長です。

園児にとっては、普段接する機会の少ない海外出身の大学生と継続的に交流し、言葉や遊び、生活習慣などを通して日本以外の文化を知る機会となります。一方、留学生にとっても、園児や保育者と接することで、日本の幼児教育や子どもたちの日常に触れる機会となっています。

11 月 5 日（木）には、追手門学院幼稚園で開催される移動動物園「1 日どうぶつ村」に留学生が参加します。「1 日どうぶつ村」は、園児が園内で動物と触れ合うイベントで、動物の名前や鳴き声などを英語で紹介するなど、園児が関心を持ちやすい動物との触れ合いを通じて、留学生と園児がコミュニケーションを取りながら、英語に親しむ機会につなげます。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】　追手門学院 広報課　　TEL：072-665-9166　織田・所